

「第三者評価を受けて～事業者からのコメント～」

折尾丸山保育所

第三者評価を受けるにあたって、項目ごとに職員同士で話し合いができたことは、これまでの保育を見直す良い機会になりました。

“共に育ち合い、思いやりの心を育てる”をテーマに、6年間にわたる統合保育や異年齢児交流の継続取り組みを評価していただきました。

今後も更に、子どもたちの育ちや保護者への支援を充実させ、保育の質を高める取り組みを継続していきます。

新たに、課題となるものは検討し、改善に向けて努力してまいります。

4歳児のトイレの扉設置について

4歳児が使用しているトイレに扉が無いと指摘をいただきました。

通常は、1階は3歳以上児の保育室があり、トイレは扉がついています。2階は3歳未満児の保育室があり、トイレには扉がありません。

4歳児は、児童の人数と部屋の広さを考慮して、やむを得ず2階保育室を使用しています。

検討した結果、カーテンの取り付けを行い、プライバシーの確保ができるように改善します。

地域の家庭支援について

中・高生交流、障害児施設間交流、退所児親子交流等の交流事業を行い、その取り組みを評価していただくことができました。

しかしながら、地域の子育て支援が望まれますという指摘を受けました。そのため、今後は地域の子育て支援についても更に、地域の子育てサークルや公民館とも連携を取りながら、未入所児等の情報を把握し、地域の子育てセンターの役割を果たせるよう努力していきます。

小学校との連携

小学校とのふれ合い交流会やまちかど探検など子ども同士の交流はしていますが、第三者評価実地調査後に小学校と話し合い、保育参観や授業参観を計画しました。

今後は、連携を図りながら子どもの育ちを見届けていきたいと考えています。